中小企業あきた

1 平成26年度 第4回理事会を開催 …… 1
2 平成26年度 中小企業労働事情実態調査結果（要約版） …… 2
渡邉靖彦氏が旭日小綬章を受章（産業振興功労） …… 4
中小企業等協同組合法施行65周年並びに
中小企業団体の組織に関する法律施行55周年記念式典 …… 4
○景況レポート 10 月分 …… 5
○話題の広場
アラカルト／中央会事業より …… 7
支援団体活動レポート …… 8
インフォメーション …… 9
組合ティールーム …… 10

12
DECEMBER.2014

TOPICS 1 平成26年度 第4回理事会を開催

11月11日（火）、ホテルメトロポリタン秋田（秋田市）において、本会の平成26年度第4回理事会を開催しました。開催にあたり藤澤正義会長からは、前回の理事会で審議された要望事項について、去る10月23日に開催された第66回中小企業団体全国大会において大会決議として承認され、大会終了後の『全国中小企業団体代表者の集い』において、直接、安倍晋三内閣総理大臣に要望が行われた旨の報告がなされ、「本日は、12月11日に開催予定の佐竹敬久秋田県知事との懇談会のテーマについて、各業界の生の声を知事に伝えるため、率直な意見をお聞かせいただきたい。」と挨拶がありました。

引き続き、議案の審議が行われ、会員の加入・脱退等の議案が満場一致で原案どおり承認・可決されたほか、今年度上半期に実施した事業の遂行状況や平成27年度事業予算の要望、第66回全国大会及び中小企業等協同組合法施行65周年及び中小企業団体の組織に関する法律施行55周年記念式典における被表彰者についての報告が行われ、また、来月開催予定の佐竹秋田県知事との懇談会におけるテーマ等についての協議では、出席理事から様々な要望が出され、活発な意見交換が行われました。

【全国中央会髙橋専務理事】

なお、議事に先立ち行われた情勢報告では、全国中小企業団体中央会の髙橋晴樹専務理事から、中小企業の景況や最近の主な政策課題について説明が行われたほか、安倍総理大臣や与党が主催する会議等への出席や「ものづくり・商業・サービス革新事業」の継続実施等、今後とも各都道府県中央会の付託を受け、積極的に関係各所に働きかけていく旨が述べられました。

政府インターネットテレビで、「中小企業団体代表者の集い」での安倍総理の発言（動画）をご覧いただけます。
URL：http://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg10714.html

TOPICS 2 平成26年度 中小企業労働事情実態調査結果（要約版）

トピックス ● SPECIAL FEATURES ●

本会では、毎年7月1日を調査時点として、全国統一様式により中小企業の労働事情に関する実態調査を実施しております。

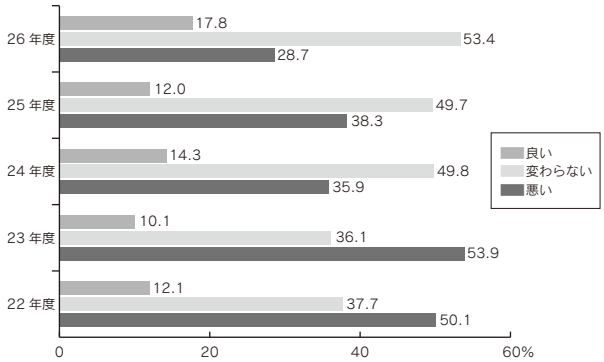
今年度の調査は、秋田県内800事業所（製造業440、非製造業360）を対象とし、そのうち496事業所（回答率62.0%）から回答をいただきました。以下、調査結果の概要について、主要項目をピックアップして、ご報告いたします。

1	調査時点	平成26年7月1日
2	調査対象事業所数	800事業所
3	回答事業所数	496事業所
4	回　答　率	62.0%

1　経営状況の推移

本県の中小企業経営状況の推移について、前年度と比べて状況が「良い」とする事業所が17.8ポイントと昨年度の12.0%と比較すると5.8ポイント上回り、「悪い」とする事業所は28.7%と昨年度の38.3%を9.6ポイント下回る結果となった。また、「変わらない」とする事業所は53.4%と昨年度の49.7%と比較すると3.7ポイント上回り、やや景況が好転しつつある状況となっている。（図－1）

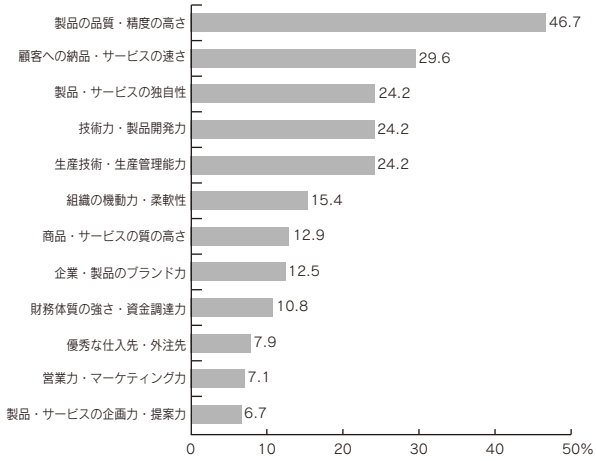
図－1　経営状況の推移



2　経営上の強み

経営上の強みを3項目以内で複数選択してもらった結果、「製品の品質・精度の高さ」が46.7%と最も多く、次いで、「顧客への納品・サービスの速さ」が29.6%、「製品・サービスの独自性」、「技術力・製品開発力」、「生産技術・生産管理能力」がそれぞれ24.2%となっており、本県では約半数の事業所が、自社製品の品質等に自信を持っていることが窺える。（図－2）

図－2　経営上の強み（複数回答）



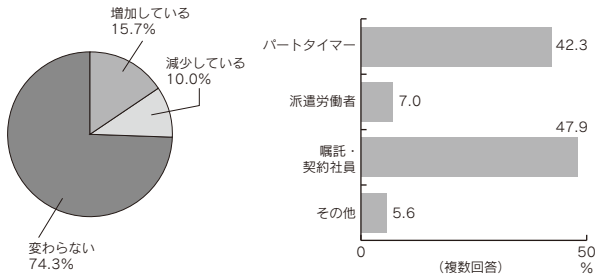
3　1年前と比べた非正規労働者数の状況及び非正規雇用労働者が増加している雇用形態

平成25年度と比較した非正規雇用労働者の雇用状況は、「変わらない」が74.3%、「増加している」が15.7%、「減少している」が10.0%となった。

なお、本県の回答で最も多かった雇用形態は「嘱託・契約社員」で47.9%、次いで「パートタイマー」が42.3%、「派遣労働者」が7.0%となった。

（図－3）

図－3　1年前と比べた非正規労働者数の状況及び非正規雇用労働者が増加している雇用形態

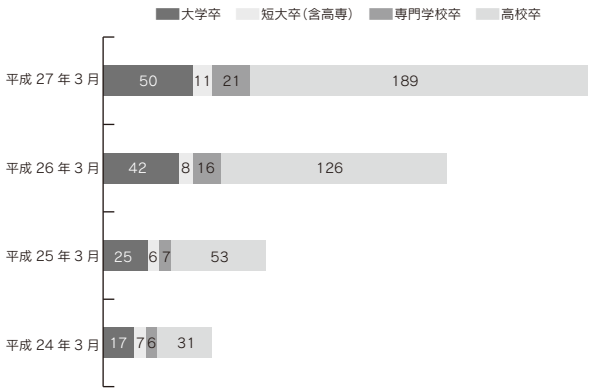


4　平成27年3月新規学卒者の採用計画

平成27年3月の学卒別の新規学卒者採用計画をみると、高校卒の採用を計画がある事業所が189事業所（昨年126事業所）と最も多く、昨年度より63事業所と大幅増加となった。次いで、大学卒が50事業所、専門学校卒が21事業所、短大（含高専）卒が11事業所という結果となった。

本県における新規学卒者採用計画は増加傾向にあり、県内就職を希望する学生等にとって明るい兆しとなっている。（図－4）

図－4　平成27年3月新規学卒者の採用計画

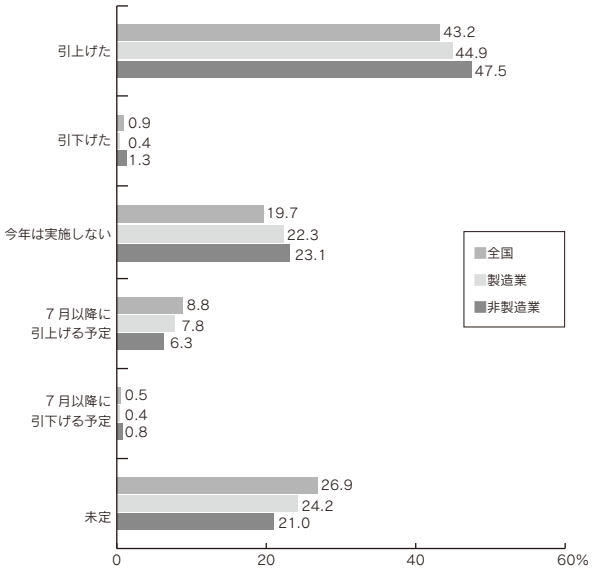


5　賃金改定実施状況（業種別）

本県の賃金改定実施状況を業種別にみると、賃金を「引上げた」とする事業所が、製造業では44.9%となり、「7月以降引上げる予定」の7.8%と合わせると52.7%となった。

また、非製造業では「引上げた」が47.5%となり、「7月以降引上げる予定」の6.3%と合わせると53.8%となり、製造業、非製造業ともに賃金を引上げる傾向にあることが窺える。（図－5）

図－5　賃金改定実施状況（業種別）

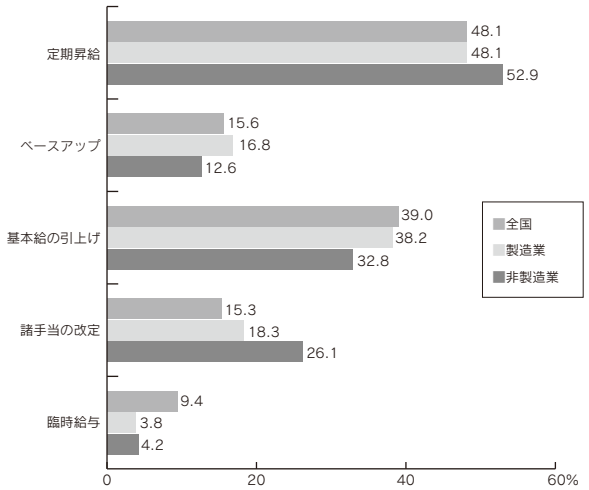


6　賃金改定（引上げ・7月以降引上げ予定）の内容

“5　賃金改定実施状況（業種別）”の問いで「引上げた」または「7月以降に引上げる予定」と回答のあった事業所を対象に、賃金改定の内容を複数選択してもらった結果、製造業では「定期昇給」が48.1%と最も多く、次いで「基本給の引上げ」が38.2%、「諸手当の改定」が18.3%となっている。

また、非製造業は「定期昇給」が52.9%と高い割合となっており、次いで「基本給の引上げ」が32.8%、「諸手当の改定」が26.1%となり、製造業、非製造業ともに賃金改定の際に定期昇給を実施する事業所が多い結果となった。（図－6）

図－6　賃金改定（引上げ・7月以降引上げ予定）の内容（複数回答）



なお、本調査結果を秋田県版の報告書として本会ホームページに掲載しております。
「秋田県における中小企業の労働事情〈毎年報告〉」　http://www.chuokai-akita.or.jp/tyousa.html

～栄えある受章おめでとうございます～

渡邉靖彦氏が旭日小綬章を受章（産業振興功労）

2014年秋の叙勲で、秋田県バス事業協同組合理事長渡邉靖彦氏（秋田商工会議所名誉会頭、秋田中央交通株式会社代表取締役社長）は産業の振興発展への功績が認められ、旭日小綬章を受章しました。

今後益々のご隆昌とご健康をご祈念申し上げます。

栄えある受賞を心からお慶び申し上げます

中小企業等協同組合法施行65周年並びに中小企業団体の組織に関する法律施行55周年記念式典

去る11月25日（火）、東京都の「ANAインターコンチネンタルホテル東京」において、中小企業等協同組合法施行65周年並びに中小企業団体の組織に関する法律施行55周年記念式典が開催され、次の方々が受賞されました。皆様方の今後益々のご隆昌とご健康を御祈念申し上げます。

中小企業等協同組合法施行65周年記念

＜国土交通大臣賞＞

【優良組合】
秋田管工事業協同組合
（理事長　高橋　正男 氏）

＜中小企業庁長官賞＞

【組合功労者】
菊地　成一 氏
（秋田県木材産業協同組合連合会理事長）

中小企業等協同組合法施行65周年記念

＜中小企業庁長官賞＞

【組合功労者】
理事長　白石　光弘 氏
【優良組合】
秋田県農業機械商業協同組合

【優良組合】
秋田県パン協同組合
（理事長　武藤　真人 氏）

中小企業団体の組織に関する法律施行55周年記念

＜中小企業庁長官賞＞

【組合功労者】
後藤　　一 氏
（秋田県菓子工業組合理事長）

全国中小企業団体中央会会長賞（組合専従優良職員）

Ⅰ　中小企業等協同組合法施行65周年記念

赤沼　千晶　氏（秋田県農業機械商業協同組合）
小野寺陽子　氏（秋田県火災共済協同組合）
佐々木愛子　氏（本荘由利電気工事協同組合）
須田真由美　氏（秋田ハイタク事業協同組合）
黒澤千佳子　氏（鹿角アスコン協同組合）
須田　清子　氏（秋田市工業団地協同組合）
近藤　純子　氏（あきた共通商品券協同組合）

Ⅱ　中小企業団体の組織に関する法律施行55周年記念

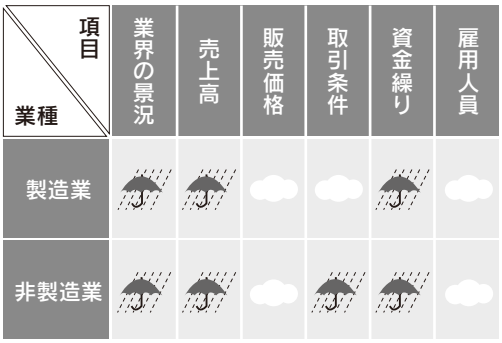
安藤　良秋　氏（秋田県自動車整備商工組合）
柏谷　秀夫　氏（大曲自動車整備協業組合）
船木　智子　氏（秋田県電気工事工業組合）

景況レポート

（10月分・情報連絡員80名）

コスト上昇の影響で、景気回復は実感できず

【概況】10月分の県内景況は、前年同月と比較して、景況が「好転」したとする向きが11.3%（前月調査11.3%）、「悪化」が35.0%（同42.5%）で、業界全体のDI値は－23.7となり、前月調査と比較して7.5ポイント上回った。県内景況は、前月同様に一部の業種では季節的要因等により業況が回復し、売上、収益ともに前月比で増加に転じるなど、5ヶ月ぶりに業界全体のDI値が前月を上回った。しかし、依然として原材料や燃料の高騰による影響で、景気回復の実感はなく、今後も県内景況を慎重に見極める必要がある。



［天気図の見方］前年同月比のDI値をもとに作成しています。

前月との比較（景況DI）

	9月	10月	増減
製造業	－40.6	－28.1	12.5
非製造業	－25.0	－20.8	4.2

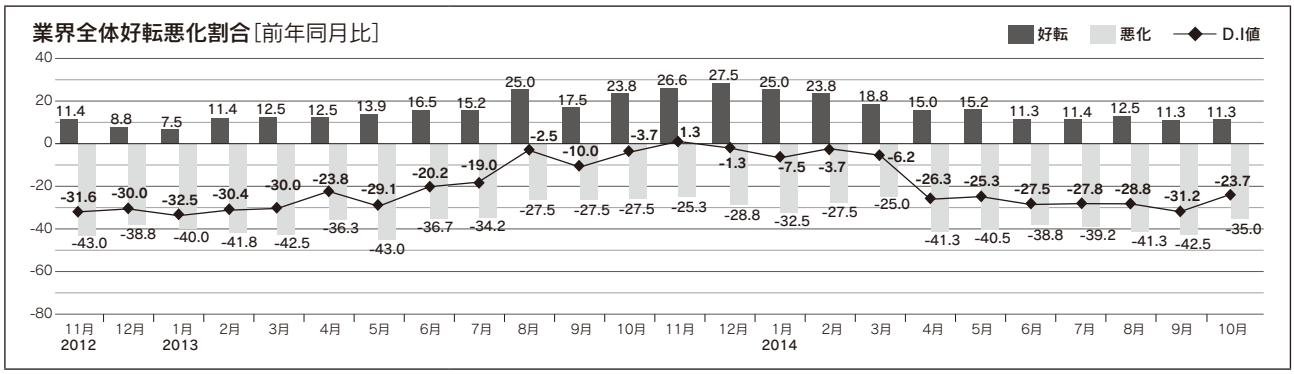
製造業のDI値は、－28.1となり前月比で12.5ポイント上昇した。漆器では、国民文化祭の影響により前年同月比で売上が増加した。また、機械金属、鉄鋼、一般機器では、前月同様に民間・官公庁ともに受注が増加しているが、冬場の受注量減少や燃料価格の上昇を懸念する声が寄せられた。一方、食料品、繊維工業では、依然として円安等の影響で、原材料費と燃料費が上昇しており、収益状況が悪化している。

非製造業のDI値は、－20.8となり前月比で4.2ポイント上昇した。商業卸や青果卸では、個人消費の低迷による影響で、前年同月比で売上が減少した。また、葬祭業では、葬儀規模の縮小化や異業種の業界参入等の影響で、前年同月比で売上が減少した。

一方、型枠工事では、前年同様に稼働率が高い状況で推移しており、売上高は増加傾向となっている。また、運輸業では、平成26年産米や青果物の輸送等で繁忙となり、輸送量が前月比で増加した。

（回答数：80名　回答率：100%）

※DI値とは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で、増加（好転）したとする企業割合から、減少（悪化）したとする企業割合を差し引いた値です。



業界の声

食料品 （パン）	前月同様、スーパーで販売されている商品の売上が伸びず、原材料費の高騰も相俟って収益状況が悪化している。また、円安等の影響で更なる原材料費の上昇を懸念している。
繊維製品	紳士服は、前月同様に円安等の影響で燃料費や原材料費が上昇し、収益状況が悪化している。一方、婦人服は、前年同月比で売上、生産数ともに増加傾向となっている。
木材・木製品 （外材）	10月の丸太輸入は、実績が無かった。国内の住宅需要は、製造元では製材品価格の値下げ努力をしているが、依然として低調に推移している。また、為替は円安傾向が強まっており、輸入材の在庫量確保の動きは見られない状況となっている。
印刷	原材料価格の上昇や市場の消費低迷の影響で、十分な収益を確保できていない。（県南地区）
窯業・土石 （生コンクリート）	10月の出荷数量は、前年同月比で約86%、4月～ 10月の累計で前年比約97%となった。なお、当初の出荷数量の想定を734千㎥（前年比91.6%）と想定したが、最終的には750千㎥（同93.6%）と前年度の出荷数量を下回ると予測している。
鉄鋼・金属 （鉄鋼）	前月同様に民間工事、公共工事ともに受注が増加している。なお、各社とも仕事を確保しているが、冬場は仕事量が減少するため、今後の先行きに不安を感じている。
一般機械	前年同月比で受注量は増加している。なお、原材料価格が上昇しており、依然として収益が悪化傾向にあるため、原材料の値上がり分を販売価格に転嫁できるかどうかが今後の課題である。
その他の製造業 （看板・標識）	前年同月比で売上が減少しており、景気回復は実感できていない。
卸売（商業卸）	前月同様、個人消費低迷の影響で日用雑貨や文房具事務用品関係は前年同月比で売上が減少した。一方、包装資材や建具関係は、前年同月比で横這いに推移した。
卸売（青果卸）	10月の売上は、個人消費の低迷により前年同月比89.9%と低調に推移した。10月上旬は、台風等の影響で野菜の生産が少なく、価格が上昇した。一方、10月中旬以降は野菜の入荷量が増加し、キャベツ、レタスは1個30円、大根は1本10円、それぞれ価格が下落したが、売上は増加しなかった。
小売 （電機販売）	10月の売上実績は、前年同月比でやや増加し、景況の好転が若干感じられた。なお、リフォーム関連の家電需要が業界で注目されており、先取りして取り組んでいる店舗では売上増加が見られている。
商店街	10月の売上実績は、酒類販売業と家電小売業は前年同月比でほぼ横這いに推移した。また、生花販売業は前年同月比で売上が減少した。なお、本県で10月に開催された国民文化祭の影響による売上増加は感じられなかった。（秋田市）
サービス （葬祭）	葬儀規模の縮小化や異業種の業界参入等の影響で、葬祭業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況となっている。
建設業 （型枠工事）	前年同月比で型枠単価は約20%上昇しており、景況の好転が感じられた。また、前年同様に稼働率が高く推移しており、売上高は増加傾向となっている。なお、社会保険、厚生年金の加入率も増加し、雇用体制の改善が図られている。
運輸業 （トラック）	10月の輸送量の動きとしては、26年産米や青果物の輸送等で各社繁忙となり、売上、収益ともに前年同月比で約5%増加した。なお、燃料価格は値下がりし、前年同月比で安く推移しているが、依然として高値安定が続いている。
その他の製造業 （砂利採取）	路盤材関連の出荷量が前年同月比で増加した。一方、生コン用骨材が前年同月比で減少したため、全体として前年同様の荷動きで推移した。（県南地区）

話題の広場

アラカルト ●a la carte●

■創立50周年記念式典を開催　～秋田市工業団地協同組合～

【感謝状贈呈の様子（右：伊藤理事長）】

11月12日（水）、秋田ビューホテル（秋田市）において秋田市工業団地協同組合（伊藤和宏理事長）の創立50周年記念式典が開催され、本会髙橋清悦専務理事をはじめ、関係者等約40名が出席しました。

当組合は、施設の共同利用や集団化による生産性の向上等を目的に、昭和37年に「秋田市金属工業団地協同組合」として設立されました。昭和63年に「秋田市工業団地協同組合」に改称し、現在28社が加入しています。

記念式典では、伊藤理事長が挨拶で「組合を取り巻く環境は厳しいものがあるが、今後も組織の力であらゆる局面を乗り切って行きたい。」と今後の決意を述べたほか、組合員企業で勤続20年以上の従業員に対する永年勤続表彰が行われました。

続いて、帝京大学法学部の志方俊之教授を講師に、「世界を読み解く日本の進路～安全保障の国家戦略～」と題し記念講演が行われました。

また、記念講演終了後に開催された祝賀会には約90名が出席し、来賓を代表して橋口昌道秋田県副知事及び石井周悦秋田市副市長から、当組合の今後更なる発展を祈念する旨の祝辞が述べられ、片山雅史株式会社商工組合中央金庫秋田支店長からは、当組合が長年にわたり組合員及び地域経済の発展に尽力し商工中金の使命達成に貢献してきたことに対する感謝状が贈呈されるなど、節目の年を盛大に祝いました。

中央会事業より

秋田県食品関連事業者シンポジウムを開催

【講演する黒川社長】

本会では、秋田県から「食品事業者サポートネットワーク構築事業」の委託を受け、県内の食品関連事業者が県外への販路拡大を目指すための各種事業を積極的に展開していくこととしており、そのキックオフとして、11月21日（金）にイヤタカ（秋田市）において、少子高齢化や人口減少が進む中で食品関連事業者が県外市場を見据えた戦略を考える機会とするため、「秋田県食品関連事業者シンポジウム」を開催し、食品製造業者や流通業者及び生産者、行政機関等から約100名が参加しました。

基調講演では、株式会社生産者直売のれん会代表取締役社長の黒川健太氏から、「地方食品産業の販路開拓」と題し、販路構造の改善に成功した事例等が紹介されました。同社では、こだわりを持つ全国の中小食品生産者と連携し、「SHOP in SHOP」形態で駅ナカなどに一坪ショップを展開することで、価格競争ではなく「価値競争」を行う仕組みを構築し、順調に売上げを伸ばしています。

今回、地方食品産業における販路開拓の方策について、次のとおりポイントが述べられました。

・『業績＝商品力×販路構造』である。市場が衰退する中で商品力強化のみを追い求めることは、下りのエスカレーターを必死に駆け上がろうとするようなもの。販路構造の改善に経営資源を投下すべき。

・地方の食品事業者は、独自の市場設定により、「○○販路における□□商品のNo.1ブランド」など、自社商品の魅力を最大限にアピールできるよう、「小市場の大シェア」を目指すべき。

【シンポジウムの様子】

・王道と思っていた販路展開は本当に王道だろうか。また、無数の競合品と一緒に並べられて価格競争は回避できるだろうか。例えば、「酒販店で豆腐を売る」、「お茶屋でお菓子を売る」等の取り組みが、狙う販路への有効な展開となり得る。

・地方から東京に売っていくことが本当に魅力的だろうか。お土産市場は3兆円もの規模があり、販路を改善することで地方にも大きな可能性が生まれる。

【秋田県食品関連事業者サポートネットワークへご登録ください！】

「秋田県食品関連事業者サポートネットワーク」は、食品事業者と原材料生産者から包装資材、流通業者までの関連業種のネットワークを構築するとともに、下記の支援等を通じて、食品事業者群の育成を図ることを目的としています。是非ご登録下さい。(登録無料)

①専門家の派遣：ご相談に対する無料の専門家派遣等によるアドバイス

②専門機関及び支援機関や事業者の紹介：ご相談に対するネットワーク登録者の紹介・仲介

③各種情報提供：食品関連セミナー、商談会　等

【お問い合わせ先】本会　工業振興課(☎018－863－8701)

支援団体活動レポート

女性経営者等講演会が開催　～あきたレディース中央会～

11月12日(水)、ホテルメトロポリタン秋田(秋田市)において、あきたレディース中央会(藤原恵美子会長)の女性経営者等講演会が開催され、13名が参加しました。

講演会では、有限会社伊藤漬物本舗(湯沢市)代表取締役の伊藤明美氏を講師に、「戦うために武器を持つ」と題して、伊藤氏の半生を振り返りながら講話が行われました。伊藤氏は、武器とは創意工夫と、企業の人材や技術、ノウハウであると述べました。

また、経営課題の解決において中央会等の支援機関の活用が有効であることや、協同組合やレディース中央会等の団体に加入することで、異業種交流や情報収集の機会に恵まれる等のメリットがあることが紹介され、参加者は熱心に耳を傾けていました。

また、講演会終了後に開催された交流昼食会では、講師が自社の技術を用いて開発した3種類の商品について試食が行われ、多数質問が寄せられたほか、和やかな雰囲気の中で参加者同士が積極的に交流を深めました。

【講演会の様子】

中小企業振興条例と支援施策活用のための研修会を開催　～秋田県中小企業青年中央会～

11月18日(火)、ホテルメトロポリタン秋田(秋田市)において、秋田県中小企業青年中央会(佐藤潤会長)の研修会が開催され、会員団体等から23名が参加しました。

本研修会は、今後、会員が支援施策を効率的に活用し、経営改善や新たな事業展開に繋げてもらうことを目的に開催され、秋田県の担当者から「秋田県中小企業振興条例」及び「秋田県の中小企業支援施策」について、また、秋田県よろず支援拠点の小室秀幸コーディネーターからは、補助事業の上手な活用方法と申請のポイント等について、それぞれ解説していただきました。

その中で、補助事業を検索するには「施策マップ」が効率的であり、目的に適した事業が見つからない場合は中央会やよろず支援拠点等に相談するようにアドバイスが行われ、参加者からは、「補助金に興味を持った」、「経営改善に専門家派遣事業を活用したい」との声が聞かれるなど、会員組合及び企業の今後の積極的な事業展開が期待されます。

なお、青年中央会では現在、会員団体を紹介するパンフレットの作成に取り組んでおり、パンフレットを活用し会員同士の連携・交流促進とビジネスチャンスの拡大を支援していくこととしています。

【研修会の様子】

組合運営事務セミナーを開催　～秋田県中小企業団体事務局協議会～

11月21日（金）、ルポールみずほ（秋田市）において、秋田県中小企業団体事務局協議会（佐藤弘幸会長）主催の「組合運営事務セミナー」が開催され、組合運営の一助として事務局役職員の資質向上を図りたいという共通の目的を持つ秋田県中小企業組合士会（堀川深雪会長）にも参加を呼びかけ、両団体から21名が参加しました。

【セミナーの様子】

セミナーでは本会職員が講師となり、会員組合から寄せられた相談案件を中心に、

○総会時の役員改選における指名推選

○組合員企業が倒産した場合の出資金の取扱い

○みなし理事会　等について詳しい解説がなされ、参加者からは、「実際の相談対応の事例を分かり易く解説してもらい参考になった」「もっと多くの相談事例について解説してほしい」等、参考になったという声が多く寄せられるなど、有意義なセミナーとなりました。

当協議会では、今後も研修会等の開催を通じ、円滑かつ適正な組合運営を支援していくこととしています。

日本語スピーチ＆日本の歌コンテストを開催　～秋田県外国人技能実習生受入組合連絡協議会～

11月23日（日）、アキタパークホテル（秋田市）において、秋田県外国人技能実習生受入組合連絡協議会（佐賀善美会長）の「第1回秋田県外国人技能実習生日本語スピーチ＆日本の歌コンテスト」が開催され、会員団体から9組13名が出場しました（中国出身8名、フィリピン出身5名）。

当コンテストは、外国人技能実習生を対象に、コミュニケーションの要となる日本語能力の向上を目的に開催され、出場者はそれぞれが好きな日本の歌を歌い、日本での生活で感じたことや今後の目標等について日本語でスピーチを行いました。

その後、審査員として、本会の髙橋清悦専務理事や秋田県アパレル産業振興協議会の佐々木繁治会長等が審査を行った結果、中島みゆきの「ひとり上手」を歌った徐宝兰（シュー・バオラン）さん（本荘由利繊維協同組合）が最優秀賞を受賞したほか、優秀賞1名、優良賞1名、奨励賞6名が決定され、それぞれに表彰状が手渡されました。

【佐賀会長から表彰状を受け取る徐さん（右）】

当協議会では、外国人技能実習生受入事業の円滑な実施を支援するため、今後もコンテストを継続していくこととしています。

インフォメーション

第6回ものづくり日本大賞にご応募下さい（経済産業省）

経済産業省は、国土交通省、厚生労働省、文部科学省と連携して、ものづくりの第一線で活躍する各世代のうち、特に優秀と認められる方々を顕彰する内閣総理大臣表彰「ものづくり日本大賞」を実施しています。現在、受賞候補者を募集していますので、日本の優れたものづくりを未来に受け継いでいくためにも、多数、ご応募下さい。

○募集締切：平成26年12月15日（月）必着（受賞者の決定、表彰式は平成27年秋頃を予定）

○「第6回ものづくり日本大賞」ホームページ　http://www.monodzukuri.meti.go.jp/index.html

設備貸与制度・設備資金貸付制度について（公益財団法人あきた企業活性化センター）

現行の国の制度である小規模企業者等設備導入資金制度（設備貸与制度・設備資金貸付制度）については、平成27年3月31日をもって廃止されることとなりました。このため、今年度の受付は**平成27年2月末までに、申請設備の設置、確認が必ずできる場合のみ**となります。（既存の契約については、影響はありません。）

なお、申請から決定まで1ヶ月程度を要するため、下記の制度を利用されたい方は、お早めにご相談下さい。

○設備貸与制度（料率固定の割賦販売・リース制度）　※限度額：1億円

創業者や経営革新を図る意欲的な小規模企業者（従業員が20名以下の企業等。ただし、商業・サービス業は5人以下）に対し、希望する設備を長期・低利で貸与します。

○設備資金貸付制度（設備資金の一部を無利子で貸付）
※限度額4,000万円（開業1年以上の創業者は6,000万円まで）

創業者や経営革新を図る意欲的な小規模企業者（従業員数が20人以下の企業等。ただし商業・サービス業は5人以下）等に対し、設備資金の一部を無利子で貸付します。

また、中小企業新事業活動促進法に基づく経営革新計画の承認、農商工連携促進法の認定を受けた企業等に対しては、貸付限度額、貸付率を割り増しします。

【お問い合わせ先】 公益財団法人あきた企業活性化センター
経営支援グループ　経営革新・設備資金担当（☎018－860－5702）

2015年「新春経営トップセミナー」開催のご案内

本会の新春経営トップセミナーを下記の日程により開催致します。
会員皆様の多数のご参加をお待ちしております。（参加無料）

○テーマ　**「アベノミクスで地方再生なるか**
～今後の日本政治経済の行方～」

○講　師　政治評論家（前　時事通信社　特別解説委員）
加　藤　清　隆（かとう　きよたか）氏

○日　時　平成27年1月20日（火）
①トップセミナー：午後3時～ 5時
②賀詞交歓会：午後5時～（会費6,000円）

○場　所　秋田キャッスルホテル　4階「放光の間」

【お申し込み・お問い合わせ先】 本会企画広報課（018－863－8701）

組合ティールーム　秋田県物流事業協同組合連合会

会長　齊　藤　正　敏さん

○業界の現状について

当連合会は、物流における多様化・スピード化する顧客ニーズに対応し、効率的に共同事業、教育情報事業を推進していくことを目的に、平成3年に設立されました。現在、8つの協同組合が加入し、勉強会やドライバー教育のセミナーなど、教育情報事業を中心に実施しています。

業界を取り巻く経営環境は、燃料価格や高速料金の値上がりに加え、労働関係法令が厳格化されるなど、厳しい状況が続いています。特に、安全で確実な配送を実現するには高速道路の利用が不可欠であるため、長距離輸送における高速料金の割引率拡大等について国等へ要望していますが、本県経済の発展のため、秋田県としても働きかけてもらいたいです。

○会長としての抱負

組合員が集まり交流を深めることで、互いに研鑽でき、企業や業界の活性化に繋がると思います。これからも、「組合員のための組合」ということを念頭に、さらに仲間意識を高め、組合員企業が力を合わせ業界を発展させていきたいと考えています。今後は、法改正等へ対応していくための研修会や情報提供等も積極的に実施していきます。

○座右の銘について（普段心がけていること）

私のモットーは「何とかなる」です。経験による判断もありますが、たとえ失敗しても、そこで全てが終わるわけでありません。周囲に対しても、「心配するな、何とかなる。」と声を掛けています。

○趣味について

旅行が好きで、仕事関係も含めると、国内の主な観光地はほとんど回りました。

特に富良野の花畑が気に入っており、ちょっと花見に行く感覚で何度も訪れています。また、近場では、十和田湖が日本で一番美しい湖だと思います。みなさんも、是非行ってみて下さい。

官公需適格組合
『カ デ ル』

秋田管工事業協同組合

理事長　髙橋　正男
副理事長　山岡　緑三郎
〃　本多　秀文

秋田市山王臨海町3番18号
☎018(862)6161／FAX 018(824)5685

秋田流通サービス事業協同組合

㈱出羽運輸
㈲川津商事
六郷小型貨物自動車運送㈱
㈱仙建
㈲藤原運送
角間川運送㈱
エコー運輸㈱
㈱岡部興業
里見運送㈲
千歳運送㈲
姉崎商運㈱
豊幸商事運輸㈲
ヨコウン㈱
田沢湖運送㈱
湯沢運送㈱
㈲北國急行
合資会社塩喜運送
㈲丸橋運輸
㈱三ウラ産業
大曲小型貨物自動車運送㈱
十文字運送㈱
川連運送㈱
㈱美郷運輸

※順不同

〒013-0001　秋田県横手市杉沢字中杉沢 592 番地の 3
TEL 0182-33-2561　FAX 0182-33-1299

鉄骨・橋梁・建築・耐震補強
国土交通大臣認定Hグレード

千代田興業株式会社

がんばろう！東北
akita steel-rib fabricators association

代表取締役社長　藤澤　正義

本社・工場：秋田市川尻町字大川反170－49
TEL 018(864)6200㈹
建設事業部：秋田市川尻町字大川反170－19
TEL 018(888)3666

リースと保険のご相談は

保険＆リース
株式会社 北日本ベストサポート

〒010-0967
秋田市高陽幸町8番17号
TEL.018-883-1888
FAX.018-883-1822
URL http://www.knbs.jp

地域と共に

秋遊協

秋田県遊技業協同組合

わたしたちは、地域の皆様が安全で安心してパチンコ・パチスロを楽しめる憩いの場づくりに取り組んでいる団体です。
また、社会貢献活動や暴力団排除活動等にも力を入れております。

秋田県遊技業協同組合

理事長　新井 昌吉

For Earth, For Life
Kubota

野菜と暮らそう。

まごころと技術でこたえる・・・
株式会社 秋田クボタ
〒011-0901　秋田市寺内字神屋敷295-38
Tel：018-845-2121　Fax：018-845-6600

出向・移籍の専門機関

公益財団法人 産業雇用安定センター

従業員の再就職や出向を無料で支援します

人材を必要としている企業の皆様へ

「全国から就業可能な方をご紹介します」

「受入したい、という情報を募っています」

雇用調整を検討している企業の皆様へ

「一定期間の出向受入先を斡旋し、雇用を守ります」

「やむを得ない場合は移籍再就職先を紹介します」

公益財団法人産業雇用安定センターのプロフィール

- 経済・産業団体と厚生労働省の協力で設立された公益法人です
- 全国ネット、47都道府県の事務所でサポート
- 費用はかかりません

公益財団法人産業雇用安定センター 秋田事務所

〒010-0951
秋田県秋田市山王3丁目1-7　東カンビル4階
TEL.018-823-7024　FAX.018-883-4215

秋田市竿燈会監修

「秋田竿燈まつり」カレンダー《2015年版》

好評発売中!

◉縦615×横305mm
◉13枚綴（12カ月＋表紙）
◉フルカラー
販売価格◉1,000円（本体926円＋税）

秋田活版印刷株式会社
〒011-0901秋田市寺内字三千刈110-1
TEL.018-888-3500 FAX.018-888-3505
E-mail:info@kappan.co.jp　URL http://www.kappan.co.jp/

取扱店◎秋田市内有力書店／秋田空港／秋田ふるさと村／あきた県産品プラザ（アトリオンB1F）／秋田観光コンベンション協会／秋田県庁売店／道の駅あきた港（セリオン）／みんなのやさい畑（トピコ1F）／Museum Café＆Shop光風（秋田県立美術館2F）／ミュージアムショップSORA（千秋美術館1F）／秋田キャッスルホテル／アルバートホテル秋田／秋田温泉さとみ／秋田チケット（駅前店・アルヴェ店）

2014 12 Dec

中小企業あきた
平成26年12月1日発行（毎月1日発行）第655号
発 行/秋田県中小企業団体中央会　〒010-0923 秋田市旭北錦町1-47　☎ 018-863-8701　FAX 018-865-1009　印 刷/秋田活版印刷(株)　定価280円